

募集班長の模型部屋（第13回）

皆様ご無沙汰しておりました。ここしばらくこのコーナーの更新がなかったもので、どうなっているんだと上司・同僚から言われてしまいました。理由は簡単、健康管理に目覚めてしまい帰宅した後、柄にも無く「ジョギング」なるものをはじめてしまったからです。

「デブなお父さんはいやだ！」そんなことを娘達から言われてしまったら走らないわけにはいきません。駆け足して、風呂入って、晩御飯作って食べて、娘達と電話で話をして。それから製作に入るのでから時間があまり取れなくなりました。しかもこの娘達との電話がいつも1時間以上も話してしまうんですよね！でもお父さんはうれしい。エヘヘ・・

で、今回は、3月に発売されました・・

高機動車です。



自衛隊車両ファン待望の高機動車。ファインモールド社からキャンバストップと機関銃装備の2種類が発売されました。当然即入手したのですが、細部の写真が無かったので、各種広報行事で使用した際に、車体の下にもぐったり中を調べたりして資料をそろえるまでに時間がかかってしまい、6月末の完成となってしまいました。

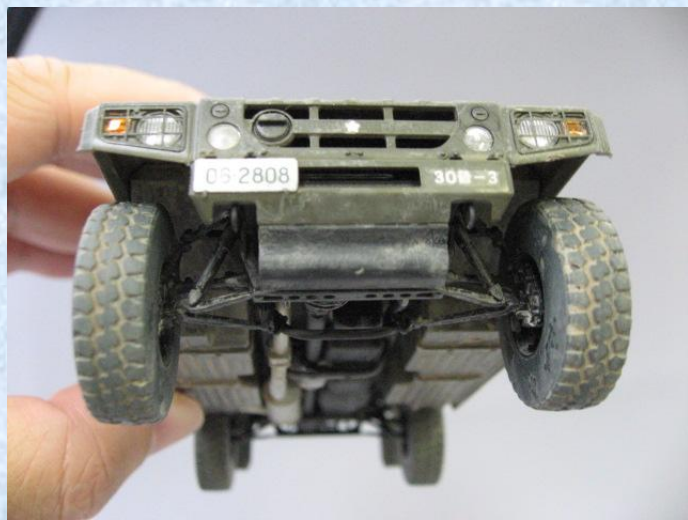
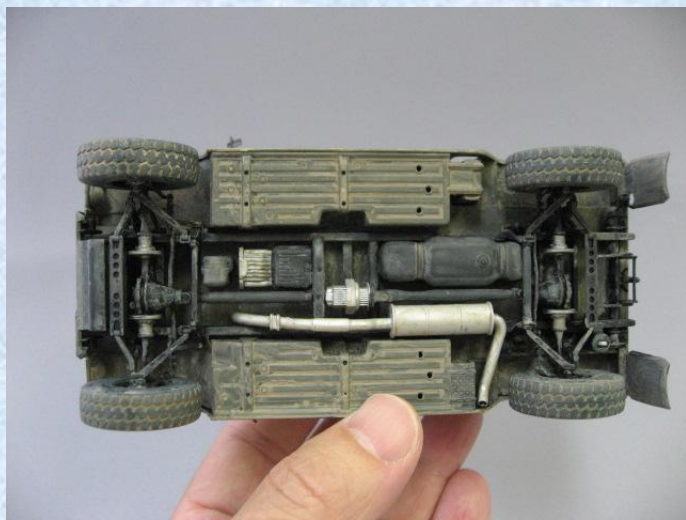
この車両に初めて乗ったのは東日本大震災の際に郡山に派遣された時で、窓から緊急車両しか走っていない高速道路やガソリンスタンドに並ぶ多数の車両・・・そんな光景を思い出してしまう。一刻も早い復興をお祈りいたします。



キットはストレート組で、塗装は車体にGS Iクレオス自衛隊色セットのOD色を、キャンバス部はアクリルタミヤのRLMグレイです。キャンバス色は、新車の頃はカーキやODっぽい色なのですが、日光で退色したり、風雨にさらされて表面が削れてくるとこのような色になります。私はこの色がじっくり来るのですが・・・参考までに。



タイヤはGS I「タイヤブラック」です。表面が削れて艶が無くなり直射日光で劣化した感じの色がぴったりです。また、ホイールやシャーシの「セミグロスブラック」や「フラットブラック」との色の差がアクセントにもなります。



車体下部の泥汚れです。広報行事で高機動車を展示した際に、下にもぐりこんで写真を撮って汚れ具合を研究しました。よく洗車されていたので「ドロドロ」状態ではなかったのですが、こんな感じだったです。タミヤ「ウェザリングスティック」の「ライトアース」と「マッド」を塗り、水をつけた筆で伸ばして、乾いたらぬらした綿棒で拭き取るという工程を繰り返しました。あまりきれいに拭き取らないほうがいいかもしれません。

タイヤにも溝が埋まるようにスティックをこすり付け、綿棒でふき取りました。それらしくなったでしょうか。シャーシに赤い錆が無かったのが印象的でした。



表面は新車の時は半光沢なのですが、埃や泥で表面がこすれて艶が無くなっていきます。

なので、車体下部と同様にウェザリングスティックを塗りつけて綿棒でこすってその顔料の成分で表面の光沢を消していきました。あまりやりすぎると塗膜がはがれるかもしれないので注意ですね。キャンバスについている透明フィルム部も同様に光沢をなくしました。透明部品が厚いので、ちょっとフィルムに見えないのが残念です。



73式小型トラックと並べて・・・

やっぱりいいですね。自衛隊のトラック車両は。後は大型トラックの発売を待つばかり。早くキット化されないかな。

次回は、今年も**柏崎模型展**に出品しましたのでその様子をお送りします。